

2023年4月20日
株式会社 A D E K A

株式会社インキュベーション・アライアンスの株式取得について

株式会社 A D E K A（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、2023年4月20日開催の取締役会にて、株式会社インキュベーション・アライアンス（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：村松 一生以下、「InALA」）の株式を78.3%取得することを決議しましたのでお知らせいたします。

■株式取得の理由

A D E K Aグループは、次世代技術として期待されるグラフェンの基礎研究と応用研究に取り組み、現在、リチウムイオン二次電池などのエネルギーデバイス関連や樹脂向け機能性フィラー用途での実需化に向けて市場提案を推し進めています。

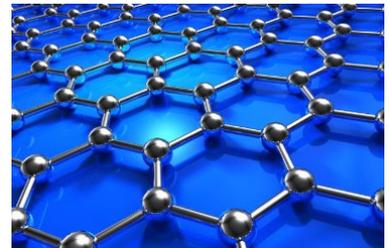
InALA は、グラフェンを中心とするナノカーボン素材とその応用部材の研究開発、製造・販売、および試作受託を行うスタートアップ企業です。極めて単層に近い数層グラフェンを無基板、無触媒で直接合成することに世界で初めて成功するなど、グラフェンに係る独自プロセスの開発と特に放熱部材向けなどで差別化された製品を提供している点が特長です。

この度の株式取得を通じて、両社の異なるタイプ・特長のグラフェンに関する技術やノウハウを融合させることで、研究開発力の強化・領域拡大を図り、自動車や電子デバイス向け放熱部材や電池向け材料などを皮切りに事業化を加速していきます。さらに、グラフェンは半導体、エネルギー、医療・バイオなど、幅広い分野に応用できる可能性を秘めた素材・技術であり、既存事業とのシナジー創出を図ることで、当社グループのさらなる事業成長につなげてまいります。

当社グループは、グラフェンメーカーとしての地位を確立し、カーボンニュートラルや高度 I C T 社会の実現などに資する製品・技術をスピーディに展開することで、持続可能な社会と人々の豊かな暮らしに貢献してまいります。

（グラフェンとは）

グラフェンは、炭素原子が六角形に結合したシート状の物質で、ダイヤモンド以上の硬さや、銅の10倍以上の熱伝導度を有します。こうした特異的な性質から「奇跡の素材」と呼ばれ、半導体、放熱部材、透明電極などの幅広い分野における応用研究が世界中で行われています。グラフェンの市場規模は、2021年269.6M USドルから、2029年までに2,172.2M USドルに拡大すると予測*されています。



*出典：FORTUNE BUSINESS INSIGHTS (Oct 2022)

■株式会社インキュベーション・アライアンスの概要（2023年3月末時点）

代表者	村松 一生
設立	2007年5月7日
所在地	兵庫県神戸市兵庫区和田山通1丁目2-25 神戸市ものづくり工場D棟307号
事業内容	炭素材料事業 ①ナノカーボン素材、②グラフェン応用部材、③研究開発、試作受託
資本金	5,000万円
株主	村松 一生 100%
URL	https://incu-alliance.co.jp/

■株式取得日

2023年4月28日予定

取得価格は非開示とさせていただきますが、客観的な基準に基づき算定した評価額をもとに村松一生氏との協議により決定しています。なお、取得価額は開示基準には該当しません。

■今後の見通し

本件に伴う2024年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ADEKA 法務・広報部 総務・広報グループ Tel:03-4455-2803